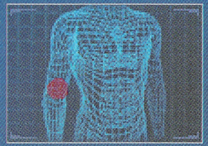
STORY 1-1

手術No01

執刀の心得

患者 田中公夫

TIME LIMIT 05:00:00



右腕上部の裂傷の縫合および、ガラス片の除去。ただし、ガラス片は外皮だけでなく皮下にもあるので、外傷の治療終了後に切開し、皮下のガラス片の除去、消毒を行なうこと。

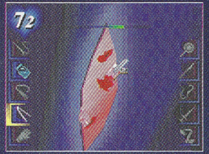
1 外皮の裂傷を縫合

2 ピンセットでガラス片の除去

取ったガラス片は、右下にでるトレイまでスライドさせてから離すこと。ガラス片除去後はヒールゼリーを患部に塗って終了。

3 上腕部切開

上腕部切開後は2と同様にガラス片を除去し、傷口にヒールゼリーを塗っていく。



2a

ガラス片を抜くときは、ガラス片が突きでているほうにタッチペンをスライドさせ、抜くこと。



2b

ガラス片除去後に残った小さな傷は、縫合でなくヒールゼリーを使って治療しよう。

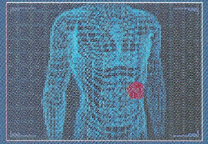
STORY 1-2

手術No02

続・執刀の心得

患者 種村久

TIME LIMIT 05:00:00



胃下部に発生した腫瘍の切除および、摘出。ただし、摘出はドレーンで腫瘍の細胞液を吸引し、腫瘍の容積を減少させてから切除、摘出するポーウエル法で行なうこと。

1 スキャナで腫瘍の影を見つける

2 メスで影を切開

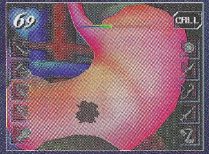
3 ドレーンで組織液を吸引

4 メスで腫瘍を切除

5 ピンセットで腫瘍を摘出

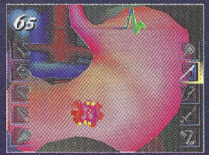
6 ピンセットで切除痕に人工膜を移植

7 人工膜にヒールゼリーを塗り手で定着させる



1、2

腫瘍があるのは写真の場所。発見後は影を真っぷたつに分断するようにメスを入れること。



4

腫瘍の周囲の黄色い点をすべてつぶすように切開。円を描くようにメスを入れなくてもいい。

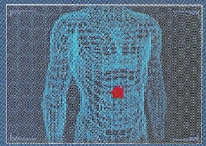
STORY 1-3

手術No03

別れの手術

患者 酒田拓也

TIME LIMIT 05:00:00



膵臓に発生した3つの腫瘍の切除および、摘出。ドレーンで腫瘍の細胞液を吸引し、腫瘍の容積を減らしてから切除するポーウエル法を用いて行なう。膵臓の外膜に見られる炎症は、消炎剤を患部に直接投与して対処すること。

1 注射器で消炎剤を炎症部分に直接投与

2 スキャナで腫瘍の影を見つける

3 メスで影を切開

4 ドレーンで組織液を吸引

5 メスで腫瘍を切除

6 ピンセットで腫瘍を摘出

7 ピンセットで切除痕に人工膜を移植

8 人工膜にヒールゼリーを塗り手で定着させる

膵臓内には3つの腫瘍がある。ひとつの腫瘍に対し2～8の手順で処置を施し、それを繰り返すこと。



1

消炎剤は注射器を手にすると右下にでる青い薬。白く炎症を起こしている部分に注射しよう。







2

腫瘍の影があるのは写真の3ヵ所。まとめて3つの腫瘍の影を切開してもかまわない。



4

手術No02と同様に、切開口から溢れでた組織液はドレーンで吸引していこう。